

## 2024\_0411「シーズン終盤のオーロラ（写真）」日々の理科 3535号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

私と研究仲間が2004年から観測を続けている、スウェーデン北部の北極圏（北緯67度付近）では、毎年8月中旬～下旬から翌年の4月中旬～下旬までオーロラが出現しています。実際にはオーロラという現象は一年中起きているのです。しかし、4月下旬から8月中旬は昼の時間が長く、6月の夏至前後には白夜（太陽が24時間地変線上にある日）が続くので、観測ができないのです。

2023年の8月に始まった今シーズンのオーロラは、太陽活動（具体的には黒点やフレアの活動）が活発な時期に入ってきたため、晴れていればほぼ毎日明るいオーロラを観測できました。それも夜が短くなってきたので、そろそろ終わりが近づいてきています。

しかし4月に入ってから、現地では非常に明るいオーロラが出現を続け、昨夜も極めて明るく雄大なバンド・オーロラの画像を得ることができました。過去20年間でオーロラ最も遅く観測したのは、4月28日（2012年）でした。今シーズンは5月に入っても観測できるのではと期待しています。

（2024年4月上旬／スウェーデン・ヨックモック郡ポルユス駅／東京から遠隔観測）

